

# 2018年度決算 2019年度業績予想について

2019年5月10日  
NTTコミュニケーションズ株式会社

# 2018年度 NTT Com グループ決算

営業収益は13,920億円、営業利益は1,321億円と対前年で**増収増益**

(単位:億円)

	2017年度	2018年度	増減	増減率
	通期実績(A)	通期実績(B)	(B)-(A)	%(A)→(B)
NTT Com グループ営業収益	13,335	13,920	+585	+4.4%
クラウド基盤	1,853	2,075	+223	+12.0%
データネットワーク	4,808	4,879	+71	+1.5%
ボイスコミュニケーション	2,763	2,666	△97	△3.5%
アプリケーション&コンテンツ	1,258	1,345	+87	+6.9%
ソリューション	2,380	2,662	+283	+11.9%
その他	273	292	+19	+6.9%
(再)NTT Com グループ グローバル事業	3,343	3,719	+376	+11.2%
NTT Com グループ営業利益	1,185	1,321	+137	+11.5%

# 2019年度 NTT Com グループ業績予想

営業収益は13,500億円、営業利益は1,360億円を見込む

(単位:億円)

	2018年度 通期実績(A)	2019年度 通期業績予想(B)	増減 (B)-(A)
NTT Com グループ営業収益	13,920	13,500	△420
クラウド基盤	2,075	2,350	+275
データネットワーク	4,879	4,780	△99
ボイスコミュニケーション	2,666	2,570	△96
アプリケーション&コンテンツ	1,345	860	△485
ソリューション	2,662	2,730	+68
その他	292	210	△82
(再)NTT Com グループ グローバル事業	3,719	4,120	+401
NTT Com グループ営業利益	1,321	1,360	+39

# 2019年度の取組み

## データ利活用を支えるサービスの強化・拡充

### お客さまのDXを推進するサービス群

#### COTOHAシリーズ

Aあ 翻訳

チャット  
ボット

仮想  
アシスタント

音声  
マイニング

議事録  
作成

#### サブスクリプション ビジネス支援サービス

課金/請求  
管理

商流管理

#### データマネジメントサービス/機能

データ  
基盤管理

EiPaaS

データ分析系AI  
自然言語処理系AI

データ  
セキュリティ

コンテナ/  
アプリ配信

### データ利活用の基盤となるインフラサービス群

#### ICTリソース

コロケーション

プライベートクラウド

パブリッククラウド

インターコネクト

WiFi

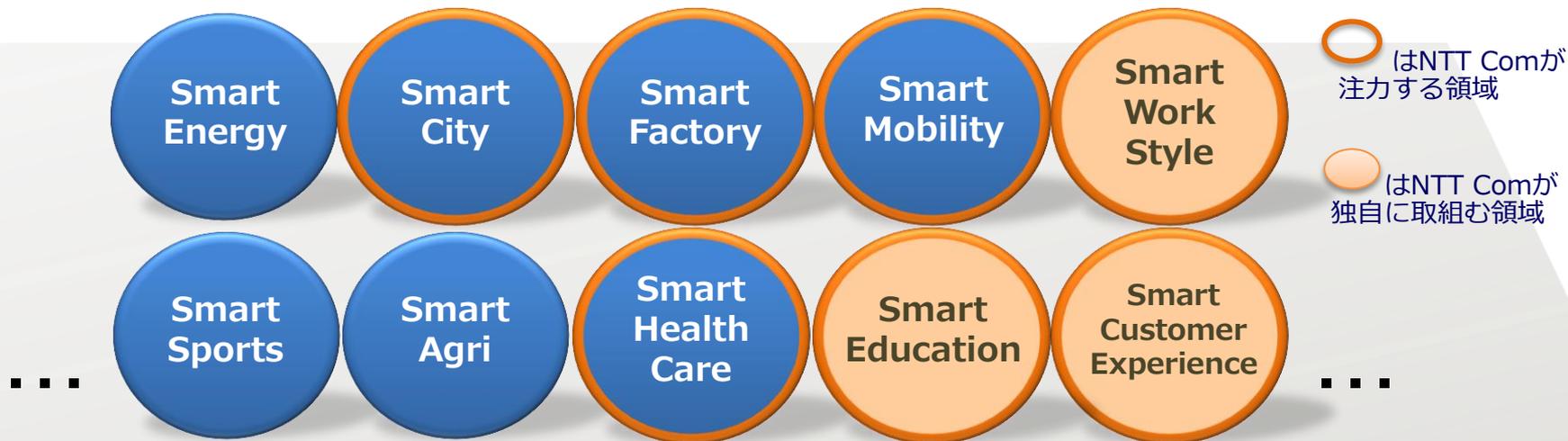
eSIM

マネージド/  
セキュリティ

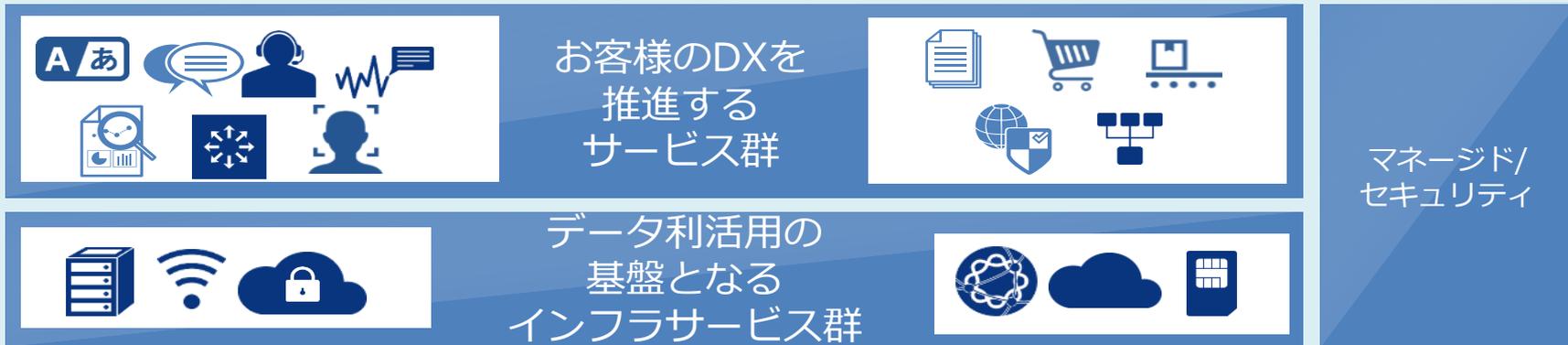
# 2019年度の取組み

## Smart Worldの実現に向けたNTT Comの取組み

- ・ NTTグループのSmart Worldへの貢献及び、新たな領域の開拓
- ・ NTTグループのリソース活用によるSmart Worldの展開に寄与



### データ利活用を支えるサービス



NTTコミュニケーションズの事業改革を推進し、DX Enabler™として「海外研究拠点（NTT Research, Inc.）」や「革新的創造推進組織」などの最先端技術を活用することで、お客さまが持つ経営課題に対するソリューションを継続的に提供していく

### ①国内事業

- ・日本事業会社の名称は、「NTTコミュニケーションズ」
- ・日系のお客さまのグローバル事業や海外展開のサポートなどを従来通り対応する

### ②海外事業

- ・「NTT Ltd.」が、海外のお客さまの事業をマーケットに合わせてきめ細かく一元的にサポートすることで、事業成長のけん引役となる